

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	2020年9月9日
【四半期会計期間】	第58期第3四半期（自 2020年5月1日 至 2020年7月31日）
【会社名】	萩原工業株式会社
【英訳名】	HAGIHARA INDUSTRIES INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 浅野 和志
【本店の所在の場所】	岡山県倉敷市水島中通一丁目4番地
【電話番号】	086（440）0860
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員事業支援部門長 吉田 淳一
【最寄りの連絡場所】	岡山県倉敷市水島中通一丁目4番地
【電話番号】	086（440）0860
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員事業支援部門長 吉田 淳一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第57期 第3四半期連結 累計期間	第58期 第3四半期連結 累計期間	第57期
会計期間	自2018年11月1日 至2019年7月31日	自2019年11月1日 至2020年7月31日	自2018年11月1日 至2019年10月31日
売上高 (千円)	22,225,595	20,462,718	29,647,393
経常利益 (千円)	1,901,218	2,277,782	2,850,272
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	1,276,152	1,576,673	2,014,255
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,013,930	1,514,364	1,705,150
純資産額 (千円)	21,663,290	23,354,260	22,354,509
総資産額 (千円)	32,111,018	32,460,432	32,572,178
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	88.21	108.96	139.23
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	67.5	71.9	68.6

回次	第57期 第3四半期連結 会計期間	第58期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自2019年5月1日 至2019年7月31日	自2020年5月1日 至2020年7月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	28.24	30.20

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 当社は、株式交付信託の仕組みを用いた「役員株式報酬」制度を導入しております。1株当たり四半期(当期)純利益金額の基礎となる期中平均株式数はその計算において控除する自己株式に、当該信託が保有する当社株式を含めております。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクに加え、新型コロナウイルスの感染拡大により、売上の減少等経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、期間後半に新型コロナウイルスの影響により、国内外の経済活動が急減速し、その回復の足取りが見通せない状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましても、営業活動や製品納入の制約や需要の縮小などの影響を受けており、それら影響の最小化を図りながら、事業活動を継続しております。

その結果、売上高204億62百万円(前年同四半期比7.9%減)、営業利益19億35百万円(前年同四半期比0.6%減)、経常利益22億77百万円(前年同四半期比19.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益15億76百万円(前年同四半期比23.5%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### 合成樹脂加工製品事業

合成樹脂加工製品事業におきましては、シート関連、粘着テープ用基材は上半期の資材確保の動きから減速に転じ、また、物流需要の低迷が続くフレキシブルコンテナバック、工事延期の影響が見られる人工芝用原糸も不調に終わりました。一方コンクリート補強繊維「バルチップ」は、北米向けを除き総じて順調で増収を確保しました。

インドネシア子会社「ハギハラ・ウエストジャワ・インダストリーズ社」及び中国子会社「青島萩原工業有限公司」とも、現在は通常通りに稼働しておりますが、生産品の需要減退により減収となりました。

国内子会社「東洋平成ポリマー株式会社」は、売上は伸び悩みましたがフィルム事業の利益率改善により収益を確保しました。

その結果、売上高170億17百万円(前年同四半期比3.8%減)、営業利益15億54百万円(前年同四半期比12.9%増)となりました。

#### 機械製品事業

機械製品事業におきましては、新型コロナウイルスの影響による移動制限のため、製品納入の延期が相次ぎ、売上の一時的減少が生じております。大手企業での環境対応投資向けで、リサイクル用途での高濾過タイプのスクリーンチェンジャーの需要など前向きな動きも出ておりますが、全体では減収となりました。

その結果、売上高34億45百万円(前年同四半期比24.0%減)、営業利益3億81百万円(前年同四半期比33.1%減)となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は324億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億11百万円の減少となりました。資産の部では、流動資産は199億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億25百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金が7億32百万円増加したこと等によります。

固定資産は125億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億36百万円の減少となりました。これは主に遊休地の売却により土地が2億62百万円及び保険積立金の解約により保険積立金が3億60百万円それぞれ減少したこと等によります。

負債の部では、流動負債は76億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億88百万円の減少となりました。これは主に短期借入金が4億99百万円減少したこと等によります。

固定負債は14億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億22百万円の減少となりました。

純資産の部は前連結会計年度末に比べ9億99百万円の増加となりました。この結果、自己資本比率は71.9%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は4億24百万円（前年同四半期は4億29百万円）であります。なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 主要な設備

当第3四半期連結累計期間において、岡山県加賀郡吉備中央町の遊休地（土地34千㎡、帳簿価額2億62百万円）を売却いたしました。

3 【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	36,000,000
計	36,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (2020年7月31日)	提出日現在 発行数(株) (2020年9月9日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	14,897,600	14,897,600	東京証券取引所市場第一部	単元株式数 100株
計	14,897,600	14,897,600	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2020年5月1日～ 2020年7月31日	-	14,897,600	-	1,778,385	-	1,393,185

##### (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2020年4月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年7月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 351,400	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 14,541,000	145,410	-
単元未満株式	普通株式 5,200	-	-
発行済株式総数	14,897,600	-	-
総株主の議決権	-	145,410	-

（注）日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）が保有する当社株式74,700株（議決権の数747個）につきましては、「完全議決権株式（その他）」に含めております。

【自己株式等】

2020年7月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
萩原工業株式会社	岡山県倉敷市水島 中通一丁目4番地	351,400	-	351,400	2.35
計	-	351,400	-	351,400	2.35

（注）株式交付信託の信託財産として、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）が所有する74,700株（0.50％）は、上記自己株式数に含めておりません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2020年5月1日から2020年7月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年11月1日から2020年7月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年7月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	6,289,048	7,021,209
受取手形及び売掛金	7,224,622	6,724,313
商品及び製品	2,031,764	2,137,421
仕掛品	2,357,506	2,605,569
原材料及び貯蔵品	1,026,731	965,467
その他	500,433	499,870
貸倒引当金	4,263	2,760
流動資産合計	19,425,842	19,951,091
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	2,180,844	2,210,785
機械装置及び運搬具(純額)	2,683,847	2,623,642
工具、器具及び備品(純額)	336,601	375,469
土地	4,174,144	3,911,842
建設仮勘定	391,114	599,558
有形固定資産合計	9,766,551	9,721,298
<b>無形固定資産</b>		
のれん	407,032	313,835
その他	486,398	454,401
無形固定資産合計	893,431	768,237
<b>投資その他の資産</b>		
保険積立金	1,149,250	789,004
その他	1,337,238	1,230,936
貸倒引当金	136	136
投資その他の資産合計	2,486,352	2,019,804
固定資産合計	13,146,335	12,509,340
資産合計	32,572,178	32,460,432



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,473,310	1,637,229
電子記録債務	1,678,147	1,468,254
短期借入金	2,500,443	2,001,136
未払法人税等	571,904	364,960
賞与引当金	623,412	325,435
製品保証引当金	54,712	43,836
その他	1,676,937	1,849,251
流動負債合計	8,578,868	7,690,104
固定負債		
長期借入金	367,028	242,750
退職給付に係る負債	807,110	727,262
その他	464,661	446,054
固定負債合計	1,638,800	1,416,067
負債合計	10,217,668	9,106,172
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,778,385	1,778,385
資本剰余金	1,469,816	1,469,816
利益剰余金	19,515,405	20,568,417
自己株式	473,960	464,912
株主資本合計	22,289,646	23,351,706
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,268	165
繰延ヘッジ損益	2,067	7,744
為替換算調整勘定	36,760	90,372
退職給付に係る調整累計額	87,927	83,896
その他の包括利益累計額合計	63,503	1,102
非支配株主持分	1,359	1,451
純資産合計	22,354,509	23,354,260
負債純資産合計	32,572,178	32,460,432

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)
売上高	22,225,595	20,462,718
売上原価	16,023,147	14,481,303
売上総利益	6,202,447	5,981,414
販売費及び一般管理費	4,255,032	4,045,483
営業利益	1,947,415	1,935,931
営業外収益		
受取利息	5,095	4,063
受取配当金	2,505	3,858
受取保険金	54,025	283,080
為替差益	-	40,713
その他	46,921	72,253
営業外収益合計	108,547	403,968
営業外費用		
支払利息	26,902	17,351
売上割引	29,640	27,455
為替差損	74,337	-
その他	23,862	17,310
営業外費用合計	154,744	62,117
経常利益	1,901,218	2,277,782
特別利益		
固定資産売却益	-	52,998
特別利益合計	-	52,998
税金等調整前四半期純利益	1,901,218	2,330,781
法人税等	625,037	754,013
四半期純利益	1,276,181	1,576,767
非支配株主に帰属する四半期純利益	28	94
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,276,152	1,576,673

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)
四半期純利益	1,276,181	1,576,767
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,084	10,433
繰延ヘッジ損益	166	5,676
為替換算調整勘定	201,141	53,615
退職給付に係る調整額	43,858	4,031
その他の包括利益合計	262,250	62,403
四半期包括利益	1,013,930	1,514,364
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,013,975	1,514,272
非支配株主に係る四半期包括利益	44	91

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)
減価償却費	875,584千円	888,354千円
のれんの償却額	95,975千円	90,686千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年1月23日 定時株主総会	普通株式	232,739	16.0	2018年10月31日	2019年1月24日	利益剰余金
2019年6月10日 取締役会	普通株式	232,738	16.0	2019年4月30日	2019年7月2日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には、役員株式交付信託が保有する79,575株に対する配当金1,273千円が含まれております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年1月23日 定時株主総会	普通株式	261,830	18.0	2019年10月31日	2020年1月24日	利益剰余金
2020年6月8日 取締役会	普通株式	261,830	18.0	2020年4月30日	2020年7月2日	利益剰余金

(注) 1. 2020年1月23日定時株主総会決議による配当金の総額には、役員株式交付信託が保有する79,575株に対する配当金1,432千円が含まれております。

2. 2020年6月8日取締役会決議による配当金の総額には、役員株式交付信託が保有する74,775株に対する配当金1,345千円が含まれております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	合成樹脂 加工製品事業	機械製品事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	17,692,103	4,533,491	22,225,595	-	22,225,595
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	28,992	28,992	28,992	-
計	17,692,103	4,562,484	22,254,587	28,992	22,225,595
セグメント利益	1,376,758	570,657	1,947,415	-	1,947,415

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	合成樹脂 加工製品事業	機械製品事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	17,017,134	3,445,584	20,462,718	-	20,462,718
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	225,842	225,842	225,842	-
計	17,017,134	3,671,426	20,688,560	225,842	20,462,718
セグメント利益	1,554,269	381,662	1,935,931	-	1,935,931

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)
1株当たり四半期純利益金額	88円21銭	108円96銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	1,276,152	1,576,673
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額(千円)	1,276,152	1,576,673
普通株式の期中平均株式数(株)	14,466,601	14,469,005

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当社は、「役員株式交付信託」制度を導入しております。1株当たり四半期純利益金額の基礎となる期中平均株式数はその計算において控除する自己株式に当該信託が保有する当社株式を含めております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

2020年6月8日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額.....261,830千円

(ロ) 1株当たりの金額.....18円

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....2020年7月2日

(注) 2020年4月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払を行っております。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年9月7日

萩原工業株式会社  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 越 智 慶 太 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 上 坂 岳 大 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている萩原工業株式会社の2019年11月1日から2020年10月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2020年5月1日から2020年7月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年11月1日から2020年7月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、萩原工業株式会社及び連結子会社の2020年7月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）1．上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2．X B R L データは四半期レビューの対象には含まれておりません。